

事例 小学校国語

西濃地区（M小学校）

1 単元について

対象学年	小学校 第1学年
学習指導要領	第1学年及び第2学年の内容 C読むこと(1)イ B書くこと(1)エ 言語事項(1)エ(ア)
単元名	「じどう車くらべ」 (全7時間)
単元目標	<p>文や挿絵から自動車の仕事とつくりを楽しんで読み取ったり文章に書いたりすることができる。(国語への関心・意欲・態度)</p> <p>「仕事とつくり」という順序に気を付け、詳しくする言葉に着目しながら仕事とそのためにつくりを豊かに想像して読むことができる。(読む能力)</p> <p>「仕事とつくり」という順序に気を付けたり詳しくする言葉を用いたりしながら、仕事とそのためにつくりを分かりやすく書くことができる。(書く能力)</p> <p>仕事とそのためにつくりについて主述の整った文型や文末に注意して書くことができる。(言語についての知識・理解・技能)</p>
配慮事項	<p>基礎的・基本的な内容の確実な定着の工夫 個の学習状況に応じた多様な指導方法の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習を進めていくための読み取りの視点をもてるよう、単元の導入で自動車の仕事とつくり注目できる自動車くらべゲームを位置付ける。</li> <li>・書かれている内容をイメージを膨らませながら読み取ることができるよう、読み取った仕事とつくりを動作化や模型を使って確かめる学習活動を位置付ける。</li> <li>・教材の学習で身に付けた力が定着するよう、個の興味・関心に応じた自動車を選んで、仕事とつくりの観点で飛行場の自動車を観察したり説明文を書いたりする学習活動を位置付ける。</li> </ul> <p>一人一人のよさや進歩の状況の評価結果を学習活動に生かす指導の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が自ら学習を振り返り評価する力をもつことができるよう、毎時の終末で学習の課題を解決している児童の姿のよさを示し、その観点から自己を振り返り課題を見出す場を位置付ける。</li> </ul> <p>&lt;読むこと&gt; 【言語活動】絵を見て想像を膨らませながら読む 【言語意識】 (目的) 自動車の仕事とつくりを知るために (場面・状況) 教室で、友達と (方法) 教材や補助資料の内容を絵を見て想像を膨らませながら、動作化や模型を使って確かめながら、ペアで発言し合ったり学習プリントに書いたりして (評価) 仕事とつくりを絵などで確認しながら読み取ったか、課題を解決している仲間の姿と自分の姿を比べて</p> <p>&lt;書くこと&gt; 【言語活動】見て分かったことを文に表わす 【言語意識】 (相手) 学級の友達に (目的) 空港で働く乗り物の仕事とつくりを分かってもらうために (場面・状況) 100字前後で (方法) 「仕事とつくり」の順序で、詳しくするための言葉を用いて書いた説明文で (評価) 仕事とつくりが分かったか、読んだ人のチェック表・感想の言葉をもとに</p>
参考資料	<p>資料1：第4時の学習プリント・・・書かれているつくり注目させ、挿絵を用いながら叙述に即して読み取った仕事とつくりをまとめるために使用</p> <p>資料2：第6時の学習資料・・・選んだ自動車について仕事とつくりをまとめる時に、図書資料からだけでは読み取れない児童のために使用</p>

2 単元の評価規準

	ア 国語への関心 ・意欲・態度	ウ 書く能力	エ 読む能力	オ 言語についての 知識・理解・技能
内容のまとめりごとの評価規準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・易しい読み物の内容の大体をとらえたり、自分なりに想像を膨らませたり、声を出したりしながら楽しんで読もうとしている。</li> <li>・相手や目的を考えながら、事柄を集めたり簡単な組立てを考えたりして文章を書き、読み直そうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手や目的を考えながら書いている。</li> <li>・自分の考えが明確になるように簡単な組立てを考えている。</li> <li>・事柄の順序を考えながら、語と語や文と文との続き方に注意して書いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら気に入った易しい読み物を読んでいる。</li> <li>・時間や事柄などの順序に着目し、内容の大体を読んでいる。</li> <li>・場面や事柄のまとめりなどについて、叙述に即して自分なりに想像を広げながら読んでいる。</li> <li>・声に出して読んで、語や文としてのまとめりや内容、響きなどについて感じたり考えたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平仮名及び片仮名を正しく読み、書いている。</li> <li>・当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。</li> <li>・文の中における主語と述語との関係を理解している。</li> <li>・言葉遣いに気を付けて読むとともに、敬体で書かれた文章などの文体を意識している。</li> </ul>
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文や挿絵から自動車の仕事とつくりを読もうとしている。</li> <li>・選んだ自動車の仕事とつくりを説明する文を書こうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選んだ自動車の仕事とそのためにつくりを、「仕事とつくり」の順序に気を付けたり詳しくする言葉を用いたりしながら書いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文や挿絵から自動車の「仕事とつくり」という順序や詳しくする言葉に着目しながら、仕事とつくりを豊かに想像して読んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事とそのためにつくりについて、主述の整った文型や文末に注意して書いている。</li> </ul>
単位時間における具体的評価規準	<p>自動車くらべゲームに進んで参加し、自動車の仕事とつくりを考えようとしている。</p> <p>読み取った仕事とつくりを、自動車の模型などを用いて確かめようとしている。</p> <p>調べたい自動車を決め、進んで仕事とつくりをまとめて文章に書こうとしている。</p> <p>書いた説明文を発表したり自分の学習活動を振り返ったりして、今後の課題をもとうとしている。</p>	<p>調べたことをもとに、自動車の仕事とそのためにつくりを、「仕事とつくり」の順序に気を付け、詳しくする言葉を用いながら書いている。</p> <p>見学したことをもとに、自動車の仕事とそのためにつくりをいくつか集め、「仕事とつくり」の順序で詳しくする言葉を用いて書いている。</p>	<p>2つの問いかけの文から、仕事とつくりの関係を読み取っている。</p> <p>挿絵を補助としながら、自動車の仕事とつくりについて読み取っている。</p> <p>詳しくするための言葉に着目して、仕事とそのためにつくりを読み取っている。</p> <p>うでの動きを思い浮かべながら、仕事とそのためにつくりを読み取っている。</p>	<p>仕事とつくりを主述の整った文型で、文末に注意して分かりやすく書いている。</p>

3 指導と評価の計画 < 全 7 時間 >

時	ねらい	学 習 活 動	評価規準	評価方法	指導・援助
1	<p>教師が提示する自動車くらべゲームを通して、自動車の仕事とつくりについて関心をもち、学習の見通しをもつことができる。</p>	<p>教師が準備した自動車くらべゲームをする。</p> <p><b>じどう車のどこがちがうかな、どうしてちがうのかな。</b></p> <p>自動車くらべをしながら自動車の仕事とつくりに着目する。挿絵のある本や模型で答えを確認しながら、その仕事をするためのつくりになっていることをとらえる。教材文の範読を聞く。教材文で取り上げられている自動車の名前や2つの問いかけの内容をとらえる。自動車くらべをして、「じどう車ちびっ子センター」を開く計画を立てる。</p>	<p>&lt;アー &gt; 自動車くらべゲームに進んで参加し、自動車の仕事とつくりを考えようとしている。</p> <p>&lt;エー &gt; 2つの問いかけの文から、仕事とつくりの関係を読み取っている。</p>	<p>観察 &lt;ゲームに進んで参加し、自動車を多面から比べようとしているかを観察する。&gt;</p> <p>学習プリント &lt;「そのため」に着目して書き取っているかを評価する。&gt;</p>	<p>以後の読み取りの視点をもてるよう、挿絵から分かることを話し合いながら、仕事とつくりには関わりがあることに気付くようにする。</p> <p>二種の自動車の仕事とつくりを入れ替えた場合を考えさせ、仕事とつくりの関わりをつかませる。</p>
2	<p>教材文のバスや乗用車について、仕事とつくりの文章を枠囲みしたり視写したりして、仕事とつくりを読み取ることができる。</p>	<p>教材文を読んで、バスや乗用車について読み取る課題をつかむ。</p> <p><b>バスやじょうよう車はどんなしごとをするのかな、そのためにどんなつくりになっているかな。</b></p> <p>挿絵をもとにバスや乗用車の仕事とつくりを枠囲みしたり学習プリントに視写したりしながら、「人をのせてはこぶ」仕事をするために、「ざせきのところがひろくつくて」あること、「そのけしきがよくみえるように大きなまどがたくさん」あるというつくりを読み取り、話し合う。教材文の問いかけを教師がして児童が答えるやりとりをし、はじめの2つの問いかけに答える型になっていることを確認する。学習を振り返り、評価表に記入する。</p>	<p>&lt;エー &gt; 挿絵を補助としながら、自動車の仕事とつくりについて読み取っている。</p>	<p>教材文の枠囲み &lt;教材文の仕事とつくりを読み取っているかを、教材文を正しく枠囲みしているかで評価する。&gt;</p>	<p>児童の家庭から自動車の模型や本を集め、教室にコーナーを設けておく。</p> <p>仕事について叙述してある部分を枠囲みしたり、つくりについて叙述している文と挿絵の部分を矢印で結んだりして、叙述に即して読む姿勢作りを促す。前時に読み取った2つの問いかけに対して答える書き方になっていることに気付いた児童を価値付け、読み取りの視点を確認する。</p>
3	<p>教材文のトラックについて、詳しくする言葉に着目しながら、仕事とつくりを読み取ることができる。</p>	<p>学習プリントの荷台・タイヤの部分に塗り絵をしながらつくり注目し、トラックについて読み取る課題をつかむ。</p> <p><b>トラックはどんなしごとをするのかな、そのためどんなつくりになっているかな。</b></p> <p>詳しくする言葉に着目して模型などを用いて確かめながら、「にもつのはこぶ」仕事をするために、運転席のほかは「ひろい」荷台になっていること、タイヤが「たくさん」についているというつくりを読み取り、話し合う。読み取った仕事とつくりの関わりを「そのために」という言葉に着目して学習プリントにまとめる。詳しくするための言葉に着目して仕事とそのためにつくりを読み取っている児童のプリントを紹介す</p>	<p>&lt;エー &gt; 詳しくするための言葉に着目して、仕事とそのためにつくりを読み取っている。</p>	<p>発言 &lt;「ひろい」「たくさん」に着目して仕事とつくりを読み取っているかを、動作化や自動車の模型を動かすことよって表れる発言の内容で評価する。&gt;</p>	<p>一部分を無色にした学習プリントに塗り絵をさせることで、つくりについて注目できるようにする。前時の学習で枠囲みができなかった児童に対して、再度仕事やつくりについて叙述してある部分を枠囲みさせたり、つくりについて叙述している文と挿絵の部分を矢印で結ばせた</p>

		る。 友達の学習プリントのよさと比較して自分の学習を振り返り、評価表に記入する。	<アー > 読み取った仕事とつくりを、自動車の模型などを用いて確かめようとしている。	観察 <適切な手段で確認しながら仕事とつくりを豊かに読み取ろうとしているか観察する。>	りすることで、叙述に即して読み取る姿勢が定着するようにする。 本時の学習の課題を解決している児童のよさを示すことで、児童に自分の学習を振り返る視点をもたせるようにする。
4 (本時)	教材文のクレーン車について、うでの動きを思い浮かべながら、仕事とつくりを読み取ることができる。	学習プリントの挿絵にうでの部分を書き足しながらつくりに注目し、クレーン車について読み取る課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">クレーン車はどんなしごとをするのかな、そのためにどんなつくりになっているのかな。</div> 「じょうぶ」「のびたりうごいたり」「しっかりした」でなくてはならないわけを動作化や模型を使ってイメージを膨らませながら、「おもいものをつりあげる」仕事をするために、「じょうぶな」うでが「のびたりうごいたりするように」つくってあること、車体がかたむかないように「しっかりした」脚がついているというつくりを読み取り、話し合う。 読み取った仕事とつくりを、ペアで交流をして確かめ合う。 読み取った仕事とつくりの関係を「そのために」という言葉に着目して学習プリントにまとめる。 動作化や自動車の模型を動かしながら仕事とそのためをつくりを読み取っている児童の学習のよさと比較して自分の学習を振り返り、評価表に記入する。	<エー > うでの動きを思い浮かべながら、仕事とそのためをつくりを読み取っている。	発言 <「のびたりうごいたり」「しっかりした」に着目し、それを仕事と結び付けて読み取っているかを、動作化や自動車の模型を動かすことによって表れる発言の内容で評価する。>	書かれているつくりの部分を取り取った学習プリントを準備し書き足しをすることで、つくりについての文章を読み取らせるようにする。  「じょうぶ」で「のびたりうごいたり」するうででなければどうなるかを考えさせ、仕事とつくりをイメージを膨らませながら読み取るようにする。
5	学習資料のはしご車について、前時までに学習した観点から読み取り、仕事とつくりについて説明文を書くことができる。	学習プリントにはしご車の絵を描きながらつくりに注目し、学習の課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">はしご車のしごととつくりをせつめいするぶんをかこう。</div> 高いビルの火事を消したり取り残された人を助けたりするために、長いはしごがついていること、はしごはのびたりちぎんだりできるようになっていること、はしごの先にはリフターがついていて助けた人を乗せることができるようになっていることを正しく読み取り、話し合う。  読み取った仕事とつくりを、「仕事とつくり」の順序で「そのために」という言葉に着目して学習プリントに書く。 前時までに学習した観点から仕事とそのためをつくりを読み取って書いている児童の学習のよさと比較して自分の学習を振り返り、評価表に記入する。	<ウー > 調べたこととをともに、自動車の仕事とそのためをつくりを、「仕事とつくり」の順序に気を付け、詳しくする言葉を用いながら書いている。  <オー > 仕事とつくりを主述の整った文型で、文末に注意して分かりやすく書いている。	学習プリント <「仕事とつくり」の順序になっているか、「のびたりちぎんだり」などの詳しくする言葉を用いているかを、学習プリントの説明文で評価する。>  学習プリント <「～は、…です(ます)。」など主語と述語がきちんと照応しているかを、説明文の書きぶりで評価する。>	はしごの部分が未記入の学習プリントを準備し、はしごを書き足す活動を取り入れることで、その部分のつくりを叙述に即して読み取る姿勢が定着するようにする。 教材文の構成で書いた自作の学習資料を準備し、前時までに学習した観点から仕事とつくりを読み取り、説明文を書くことができるようにする。

名古屋空港 社会見学

<p>6</p> <p>名古屋空港で働く乗り物について見学したり調べたりして取材したことをもとに、仕事とつくりについて分かりやすい説明文を書くことができる。</p>	<p>名古屋空港で働く乗り物が行っていた仕事を発表し合い、課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>なごやこうこうではたらくのりものしごととつくりをせつめいするぶんをかこう。</p> </div> <p>自動車はその仕事をするためのつくりを思い出したり、図書資料・学習資料から読み取ったりしたことをもとに、分かりやすい説明文を書く。</p> <p>「仕事とつくり」の順序で、詳しくする言葉(教材文に出てきた「ひろく」「たくさん」「じょうぶな」など)を用いて書けているかについて、読み返す。</p>	<p>&lt;アー &gt; 調べたい自動車を決め、進んで仕事とつくりをまとめて文章に書こうとしている。</p> <p>&lt;ウー &gt; 見学したことをもとに、自動車の仕事とそのためにつくりをいくつか集め、「仕事とつくり」の順序で詳しくする言葉を用いて正しく書いている。</p>	<p>観察 &lt;見学などで取材したことを整理して書こうとしているか観察する。&gt;</p> <p>学習プリント &lt;書くために集めた必要な事柄を、「仕事とつくり」の順序で、詳しくする言葉を選択して適切に選んで用いているかを、学習プリントの説明文で評価する。&gt;</p>	<p>見学に出かける前に図書資料を用いて飛行場で働く自動車について調べ、見学後説明文を書きたいと思う自動車を決める。帰校後にその自動車の絵を描いておく。</p> <p>名古屋空港で働いていた乗り物を想起できるように、写真・ビデオなどを準備する。</p> <p>図書資料からだけでは読み取れない場合のために、教材文に習って書いた自作の学習資料を準備し、必要な時に活用できるようにする。</p>
<p>7</p> <p>書いた説明文の発表会をし、チェックポイントにそって読み合ったり振り返ったりして、自分ができるようになったことや今後の課題をもつことができる。</p>	<p>仲間の説明文を読む時のチェックポイントを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>じどう車ちびっ子センターをひらいて、ひこうじょうではたらくじどう車のしごととつくりをはっぴょうしよう。 見つけたよさやこれからがんばることを見つけよう。</p> </div> <p>自動車の仕事とそのためにつくりがわかるかを意識しながら仲間の説明文を読み、チェック表に記録する。</p> <p>自分や友達の説明文のよさや問題点などについて話し合う。</p> <p>発表やチェック表をもとに、今後どんなことをがんばっていきたいかについて、学習プリントにまとめる。</p>	<p>&lt;アー &gt; 書いた説明文を発表したり自分の学習活動を振り返ったりして、今後の課題をもとうとしている。</p>	<p>発言 学習プリント &lt;今後の活動におけるめあてについて「順序よく書くようになりたい」「～さんのように詳しく書いてみたい」など具体的にもっているかを、交流の時の発言や学習プリントの振り返りで評価する。&gt;</p>	<p>「仕事とつくり」の順序で書かれているか、「ひろく」「たくさん」などの詳しくする言葉を用いて分かりやすく書かれているかについて相互評価できるチェック表を準備し、表にそって読み合うようにする。</p> <p>自分や友達の説明文のよさや課題を具体的に生かす場を示し、実践していく意欲化を図る。</p>

4 単位時間の授業展開例


(1) 本時のねらい

- ・教材文のクレーン車について、うでの動きを思い浮かべながら仕事とつくりを読み取ることができる。

(2) 本時の位置

4 / 7時

(3) 展開案

過程	学 習 活 動	形態	評価について	指導・援助
導入	学習プリントの挿絵にうでや脚の部分を書き足しながら、クレーン車について読み取る課題をつかむ。	個人 学級 全体		書かれているつくりの部分 を切り取った学習プリント を準備し書き加えさせるこ とで、つくりの文章を具体 的に理解できるようにする。 仕事とつくりについての叙 述に枠囲みをしたり挿絵と 線で結んだりすることで、 叙述に即して正しく読む姿 勢を身に付ける。
展開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                     クレーン車はどんなしごとをするのかな、そのためにどんなつくりになっているのかな。                 </div> <p>「じょうぶ」「のびたりうごいたり」「しっかりした」でなくてはならないわけを動作化や模型を使ってイメージを膨らませながら、「おもいものをつりあげる」仕事をするために、「じょうぶな」うでが「のびたりうごいたりするように」つくってあること、車体がかたむかないように「しっかりした」脚がついているというつくりを読み取り、話し合う。</p> <p>・「もし～でなかったら」の見方を する もし「じょうぶな」うででなかったら... もしうでが「のびたりうごいたり」しなかったら... もし「しっかりした」脚でなかったら... </p> <p>・動作化をしたり模型を使ったりして確かめながら、叙述に即して読み取る。</p>	個人 学級 全体	<p>&lt;工&gt;</p> <p>うでの動きを思い浮かべながら、仕事と そのためのつくりを 読み取っている。 ・発言</p> <p>&lt;のびたりうごいたり&gt; 「しっかりした」に着 目し、それを仕事と 結び付けて読み取っ ているかを、動作化 や自動車の模型を動 かすことによって表 れる発言の内容で評 価する。&gt;</p>	<p>「じょうぶ」で「のびたり うごいたり」するうででな ければ どうなるかを考え させ、仕事とつくりをイメ ージを膨らませながら読み 取るように助言する。 「もし～でなかったら」と いう視点で考えさせること で、仕事とつくりには深い 関係があることに気付かせ、 動作化をしたり模型を使っ たりしながら叙述に即して 読み取るようにする。 「そのために」にかわる語 を用いた児童がいた場合は、 他の語でもよいことに触れ る。</p> <p>～というしごとをする から..... ～というしごとをする ので..... ～というしごとをする ために..... など</p>
終末	<p>読み取った仕事とつくりを、ペア で交流をして確かめ合う。</p> <p>読み取った仕事とつくりを、「そ のために」という言葉に着目して 学習プリントにまとめる。</p> <p>動作化や自動車の模型を動かしながら仕事と そのためのつくりを読み 取っている児童の学習のよさと 比較して自分の学習を振り返り、 評価表に記入する。</p> <p>・教師が示した評価の観点で自己評 価をする。 仕事を読み取ったか つくりを読み取ったか 仕事とつくりは分かったか</p> <p>・自己評価から、次時の課題をつか む。</p>	個人 学級 全体		本時の学習の課題を解決し ている児童のよさを示すこ とで児童に自分の学習を振 り返る視点をもたせるよう にし、学びを自覚したり次 回の見通しをもったりでき るようにする。

## 5 評価の実際と個に応じた指導事例

### (1) 本時重点的に取り上げた評価規準

<エー >

うでの動きを思い浮かべながら、仕事とそのためのつくりを読み取っている。

### (2) 評価の実際

【評価方法】発言

【判断した児童の状況例】

- ・「のびたりうごいたり」や「しっかりした」に着目してその様子を動作化で表したり模型を動かしたりして、「腕が伸びたり動いたりしないと、重いものをつり上げる仕事をする事ができない。その時に車体がぐらぐらしないように、しっかりした脚がついている。」などと仕事とつくりを具体的に発言している児童は、「おおむね満足できる状況」にあると判断した。
- ・「のびたりうごいたり」や「しっかりした」に着目できない児童や、「のびたりうごいたり」や「しっかりした」に着目はしているがその仕事をするために欠かすことのできないつくりとして具体的に発言できない児童は、「努力を要する状況」にあると判断した。この要因としては、  
前時の詳しくするための言葉に着目する力  
その仕事をするためにそうでなくてはならないつくりとして具体的に読み取る力が確実に定着していないことが考えられる。

### (3) 個に応じた指導の実際

- ・ 詳しくするための言葉に着目する力が不十分であることが要因と考えられる児童に対しては、机間指導で「腕はどんなことができるようになっていたのか」「脚はどんな脚なのか」と問いかけ、音読をして見付けるよう助言した。児童は、「のびたりうごいたり」や「しっかりした」を枠囲みし、動作化や模型を動かしながら仕事とつくりを結び付けて考えた。
- ・ 「のびたりうごいたり」や「しっかりした」に着目はしているが、その仕事をするためにそうでなくてはならないつくりとして具体的に読み取る力が不十分であることが要因と考えられる児童に対しては、動作化をしたり模型を動かしたりして確認しながら読み取る際、再度「もしこの腕がのびたりうごいたりできなかつたらどうだろう。」「もし弱々しい脚であつたらクレーン車はどうなるだろう。」と問いかけ、動作化を試みるよう助言した。児童は、自分の体で「腕がのびたり動いたりできなかつたら荷物をつり上げることができない。」「しっかりした脚がついていなければ、クレーン車は倒れてしまう。」と気づき、ペアで交流する場で動作化をしながら具体的に発言し、学習プリントにまとめることができた。